

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-01	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書館施設の管理		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	小堀	
			担当者名	小林	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）	建設事業	それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 平成	25 年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館条例、荒川区立図書館館則			
終期設定	有 無	年度	法令等				
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	図書館施設の適切な維持管理により、施設の長寿命化を図り、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（5館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1 / 敷地面積2,723.96㎡ / 延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・荒川図書館：荒川4-27-2 / 敷地面積2,004.84㎡ / 延床面積1,165.29㎡ ・尾久図書館：西尾久3-12-12 / 敷地面積1,328.94㎡ / 延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18 / 都営住宅敷地内 / 延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4 / 敷地面積893.92㎡ / 延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書館サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114 / 延床面積124.07㎡ ・冠新道図書館サービスステーション：西日暮里6-25-14 / 延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月荒川図書館開館、昭和46年 9月尾久図書館開館、昭和48年 4月旧南千住図書館開館、昭和51年10月町屋図書館開館、昭和54年 6月日暮里図書館開館 ・昭和56年 4月 開館時間が9時半～19時半となる ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成15年 4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置 ・平成26年 3月 地域館に防犯カメラを設置						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		60,909	60,489	60,652	58,795	58,456	65,168	64,445
決算額（26年度は見込み）		59,227	54,714	56,560	53,655	57,758	62,204	64,445
人件費等		16,121	12,763	12,487	14,397	8,674	13,886	
減価償却費				4,358	5,287	3,388	6,084	
【事務分担量】（%）		290	219	150	170	105	180	
合計（+ +）		75,348	67,477	73,405	73,339	69,820	82,174	64,445
特定財源	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	383	341	325	228	230	273	236
	一般財源	74,965	67,136	73,080	73,111	69,590	81,901	64,209
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	入館者数（人）	1,211,614	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,300,000
	個人貸出者数（人）	586,263	633,555	671,737	666,490	659,851	652,099	658,000
	個人総貸出点数（点）	1,818,212	1,927,377	2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,930,000
	住基人口（翌年1月1日）	199,916	202,414	204,837	205,831	206,457	207,635	208,000

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
光熱水費	電気・ガス・水道	28,045	需用費	電気・ガス・水道等	29,399	需用費	電気・ガス・水道等	31,686
一般需用費	消耗品・物品修繕	349	委託料	各館設備保守等業務委託	29,232	委託料	消耗品・物品修繕	28,783
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,973	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,573	役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,976
委託費	各館設備保守等業務委託	25,391						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	貸出点数一点当たりの経費(円)	29	29	30	33	33	経費÷貸出点数
	区民一人当たり総個人貸出点数(点)	9.8	9.5	9.2	9.2	10	個人総貸出点数÷住基人口

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 各館の老朽化が進んでいる状況の中で、保守・維持管理の経費は年々増加していくことが見込まれる。 荒川区公共建築物中長期改修実施計画及び今後の公共施設のあり方の検討を踏まえ、着実に改修を実行していく。 指標を維持するためには、魅力ある図書館づくりをすすめ、来館者数や貸出点数を増やすことにより、貸出数一点当たりのコストを削減していく必要がある。 保守委託業務の多くが平成26年度が長期継続契約の最終年度となるため、維持管理業務の効率化を考慮した契約の更新を検討する必要がある。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
維持管理業務の効率化を考慮した契約更新	維持管理業務の報告書を活用した修繕計画の検討

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、継続して実施する。

（要質問状）	<ul style="list-style-type: none"> H22二定 H24一定 H24二定 H25予特 	<ul style="list-style-type: none"> 地域館の整備について 西尾久地域における図書サービスステーションの設置について 都立汐入公園内における（仮称）汐入図書館の設置について 「複合施設」から「融合施設」への考え方について 尾久図書館の建替えについて

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-02	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書資料の購入		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名		小堀
			担当者名	中山	内線		436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-01	図書購入費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	25年度	根拠	図書館法、荒川区立図書館館則、荒川区立図書館資料取扱規程、荒川区立図書館資料収集要綱		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	図書館を運営する上での必須要素である図書資料を充実し、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指す。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスの中で基本となるものは、区民への資料提供であり、資料の収集内容によって、図書館のサービス内容が決まるともいえる。多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供している。 ・「これからの図書館調査懇談会」（平成18年度）の提言を受け、平成20年度から全館の収集基準を設け、特色ある図書館づくりを進めている。 【各館の分担収集】 南千住 哲学、宗教、歴史、地理、教育、芸術、地域資料等 荒川 政治、行政、法律、社会、福祉、スポーツ等 尾久 自然科学、医療、言語、海外文学等 町屋 技術、環境、コンピューター、産業、日本文学等 日暮里 経済、財政、民族、外国語図書、アジア等 						
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成5年度 図書館オンラインシステムの稼働に合わせて、新刊配本を一カ所とし、合同で選択会議を行う集中発注受入方式を導入 ・平成18年度 図書資料収集基準として、荒川区立図書館資料収集要綱を制定（19年3月） ・平成20年度 区立図書館それぞれの地域性に合わせた「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集を実施 						
必要性	利用者の多様化するニーズに的確に対応し、図書館の本質的な機能である資料の提供を担うためには、必要な事業である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 毎週火曜日、各館の代表者による図書の合同選択会議を開催。あらかじめ配本された新刊本の内容を確認しながら、図書館資料収集基準に基づき選書を行い、書店組合荒川支部に発注している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	81,108	81,108	74,666	76,072	72,662	69,029	69,029	
決算額（26年度は見込み）	74,249	72,549	73,048	76,030	71,689	68,407	69,029	
人件費等	36,140	33,153	18,731	19,210	19,339	14,338		
減価償却費			9,006	9,797	9,810	6,929		
【事務分担当】（%）	1,110	997	310	315	304	205		
合計（+ +）	110,389	105,702	100,785	105,037	100,838	89,674	69,029	
特定財源								
国	0	0	0	0	0	0	0	
都	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	110,389	105,702	100,785	105,037	100,838	89,674	69,029	
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	図書雑誌蔵書冊数(冊)	730,000	737,769	751,425	752,184	760,077	769,836	770,000
	図書雑誌個人貸出冊数(冊)	1,818,212	1,927,377	2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	2,000,000
	図書購入冊数(冊)	39,514	44,266	47,554	40,809	37,939	38,675	38,000
	雑誌購入冊数(冊)	16,629	16,536	16,733	16,562	16,305	16,207	16,000

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
一般需用費	一般書・児童書	53,004	需用費	資料等購入費	68,407	需用費	資料等購入費	69,029
	雑誌(609種)	14,397						
	新聞(24種)	2,780						
	追録	1,292						
	官報	216						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	区民一人当り蔵書冊数(冊)	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	蔵書冊数÷住基人口
	区民千人当り図書購入冊数(冊)	216	186	186	183	185	年間購入冊数÷住基人口千人
	区民一人当り個人貸出冊数(冊)	9.8	9.5	9.2	9.6	10	年間貸出冊数÷住基人口

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> 施設規模の蔵書容量から所蔵数には限界があり、この中で区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行うには、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報と社会情勢に対する日々の研鑽が重要である。 電子デバイスの普及に伴い、実績を伸ばしている電子書籍についても、国会図書館や導入自治体の動向を注視し、効果的な導入方法を研究する。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	医療情報に関するレファレンスに役立つ資料の充実	医療情報分野などの専門情報に関するレファレンス能力の向上
	最新情報を確認し、時代のニーズにあったビジネス図書を購入する	ビジネス支援などの専門情報に関するレファレンス能力の向上
	配本のない図書について、パンフレットや出版情報を確認し、多様な蔵書構成を目指す	図書館のあり方に合わせた、分担収集の見直し

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	図書館サービスの必須要素である図書資料の充実を図ることは、図書館で最優先すべき事業である。

議 会 要 質 問 状	・ H26予特 未返却本、持去り本への対応について
----------------------------	---------------------------

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	16ミリ映写機検査技師謝礼	26	需用費	C D等購入	7,189	需用費	C D等購入	7,338
一般需用費	C D購入	5,634	報償費	16ミリ映写機検査技師謝礼	26	委託料	16ミリ映写機検査講師謝礼	33
	カセットテープ購入	59						
	DVD（教育用含）購入	1,453						
	C D貸出袋等消耗品購入等	693						
	物品修繕費	0						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	DVD移行率（%）	36.1	45.1	57.1	46.4	50	DVD所蔵数÷ビデオ所蔵数
	区民一人当り視聴覚資料個人貸出点数(点)	1.2	1.2	1.1	1.2	1.5	視聴覚資料個人貸出点数÷住基人口
	区民千人当り視聴覚資料所蔵点数(点)	229	232	235	232	235	視聴覚資料所蔵点数÷住基人口千人

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 音響資料の新譜はほとんどCDとなり、カセットテープの発売は大きく減少してきているが、高齢者を中心にカセットテープの貸出が依然としてある。 ブルーレイディスク（BD）とその再生機、また音楽のダウンロードも普及している中で、図書館として、視聴覚資料の発行形態の大きな変化や区民ニーズに対応していく必要がある。 16ミリ映写機については、現在では部品の製造がおこなわれていないため、故障した場合は修理ができない場合がある。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
古くなった16ミリフィルムの取扱いの検討（旧教育指導要領にのっとったもの、劣化したもの）	貴重な地域資料の劣化防止
地域資料となりうる視聴覚資料の洗い出し	カセットテープ、ビデオテープの取扱いの検討
多様化する音響資料の情報収集	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	図書館サービスの基盤である資料の充実を図るため、優先度の高い事業である。

議決（要旨）	H24決特 16ミリフィルムの運用について
--------	-----------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-04	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	障がい者サービス		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名		小堀
			担当者名	中田	内線		436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-03	障がい者サービス費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	56 年度	根拠	荒川区立図書館館則第2条			
終期設定	有 無	年度	法令等				
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	視覚障がい者に対する録音図書・点字図書の充実など、障がいのある利用者へのサービス向上に努める。						
対象者等	障がいや高齢者等の理由により、図書館利用が困難な区民						
内容	<p>【図書資料の宅配サービス】 何らかの障がいにより、図書館への来館が困難な方を対象に、職員が図書資料（本・カセット・CD・ビデオ・DVD録音図書）を自宅まで配達。貸出期間は1カ月</p> <p>【対面音訳サービス】 活字資料の利用が困難な方に、対面音訳者が必要な図書資料をその場で読むサービス</p> <p>【その他のサービス】 区内の福祉施設（のぞみの会・ひまわり作業所等）への団体貸出の実施。福祉まつりへの参加</p> <p>【録音図書の製作と貸出】 利用者からのリクエストや職員が選んだ図書を音声化して作成する。音訳はボランティアに依頼しており、内容の録音、校正を経て完成させる。平成20年度からはデージー図書の作成を開始 また、録音技術の習得と向上を目的とした音訳者養成講座を実施している。</p>						
経過	昭和56年12月	「図書館利用に障がいのある人々へのサービスの基本計画」を策定					
	昭和57年 4月	昭和56年の国際障害者年を契機に障がい者サービス事業を検討し、家庭配本・対面朗読（現在は「対面音訳」）開始					
	昭和58年10月	カセットテープによる録音図書の貸出を開始					
	昭和59年 1月	点字図書作成開始					
	平成18年	デージー図書貸出開始、障害者自立支援法完全施行					
	平成23年 3月	日本点字図書館が図書貸出を終了					
必要性	何らかの障がいのある方に、より多くの図書館資料を提供するため、必要な事業である。録音図書のデージー化は利便性・耐久性に優れており、利用者のサービス向上にも繋がる事業である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 点字図書・録音図書の作成：ボランティア（養成講座修了者及び受講者）に協力いただいで作成 音訳者養成講座：音訳者としてのレベルアップを図るため、外部から講師を呼び実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額		5,039	3,408	3,105	3,237	2,143	1,353
決算額（26年度は見込み）		4,303	2,389	2,331	2,522	1,523	1,222	1,426
人件費等		5,211	2,094	1,744	3,388	3,717	4,159	
減価償却費				581	1,244	1,452	1,690	
【事務分担量】（%）		90	46	20	40	45	50	
合計（+ +）		9,514	4,483	4,656	7,154	6,692	7,071	1,426
特定財源の推移	国	0	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	9,514	4,483	4,656	7,154	6,692	7,071	1,426
実績の推移	事項名	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	宅配サービス実績回数（回）	507	707	412	395	339	369	390
	HS登録者数（人）	124	131	120	117	121	114	130
	HS資料個人貸出点数（点）	2,400	2,604	2,273	2,239	1,871	2,249	2,300

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	音訳者養成講座講師謝礼等	428	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	559	報償費	音訳者養成講座講師謝礼	683
需用費	デイジー図書等	732	需用費	デイジー図書等	403	需用費	デイジー図書等	497
委託料	講習会委託	200	委託料	講習会委託	200	委託料	講習会委託	206
役務費	郵送料	64	負担金補助等	サピエ利用料	40	負担金補助等	郵送料	40
備品購入費	ノートパソコン	59	役務費	郵送料	20			
負担金補助等	サピエ利用料	40						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	障がい者利用登録者率（％）	5.8	6.2	5.7	6.5	7.0	H S登録者数÷対象者数（肢体不自由及び視覚障がい1・2級）
	デイジー図書貸出普及率（％）	46.1	61.1	92.0	94	96	D A I S Y図書貸出点数÷録音図書貸出点数

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 録音図書は、カセットテープ主流で作成してきたが、現在はパソコンやデジタル録音機を使用してデイジー図書の作成を行っている。録音図書作成に伴う音訳・校正・編集等の専門スキル修得のための区民向け講座・研修を開催しているが、今後も積極的に音訳者の養成を行っていく必要がある。 録音図書利用者の高齢化に伴い、デイジー図書再生機の操作説明をきめ細かく行っていく必要がある。 全国視覚障害者情報提供施設協会が運営しているサピエに加盟し、デイジー図書をダウンロードし活用している。サピエで提供されているデイジー図書と併用ながら、図書館独自でもデイジー図書を作成していく。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	利用案内や目録等を活用し、利用者の拡大に努める	養成講座に参加した方が、自主的に活動を行えるように育成していく。
	音訳者講座参加者を、新しい音訳者として育成していく	関係機関・各団体との連携を深める

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	推進	障がい者サービスを充実させるため、優先度の高い事業である。

議 会 要 旨 状	
-----------------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-05	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書館オンラインシステム		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名		小堀
			担当者名	本宮	内線		436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-04	図書館オンラインシステム					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	5年度	根拠	荒川区個人情報保護条例、荒川区電子情報システム管理運営規程、住基ネット管理運営規程		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	図書館オンラインシステムを活用することで、図書館の業務（蔵書管理・貸出返却・予約等）の運営を円滑にし、利用者の利便性の向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区立図書館5館及び図書サービスステーション2カ所を結んだオンラインシステムにより、資料選択、発注、受入、回送等の一連の業務を集中発注方式で処理 ・ 利用者は、どこでも貸出、返却、予約等ができ、携帯電話や自宅のパソコンからも、資料の検索や予約、予約・貸出状況の確認、貸出延長などの手続きが可能となっている。 ・ 現行システムの機器リースは平成27年3月31日まで（サーバ機器6台、端末装置67台、プリンター14台、レシートプリンター50台、ハンディ端末12台等）。 ・ 1年間の再リースを経て、複合施設の開館に合わせた時期に新たな図書館システムに更新する予定である。 ・ 新しい図書館システムは、ICタグとその周辺機器の導入や書影の表示、多言語表記、全文検索エンジンの搭載など、様々な利用者サービスの拡充を検討している。 						
経過	<p>平成10年 5月 1日 南千住図書館開館（祝日開館実施）</p> <p>平成11年 4月10日 図書館コンピュータ新システム稼動</p> <p>平成13年 7月 7日 インターネットによる資料の検索・予約サービス開始、図書館ホームページ開設</p> <p>平成14年 2月18日 携帯での検索・予約サービス、インターネットによる貸出・予約照会サービス開始</p> <p>平成14年 9月 8日 南千住図書館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成15年 7月 1日 全館で無線LANインターネットサービス開始</p> <p>平成16年 4月 1日 図書館コンピュータ新システム稼動</p> <p>平成16年 4月 3日 パスワード・メールアドレス登録、予約確保時連絡メール自動送信、メール督促開始</p> <p>平成18年 7月14日 全館でノートPCに加えてデスクトップPCによるインターネットサービス開始</p> <p>平成21年 3月 1日 全館で無線LAN規制ソフト導入</p> <p>平成22年 4月 3日 オンラインシステムリプレイス・HPリニューアル</p>						
必要性	区立図書館資料の管理・貸出等の業務はすべて図書館オンラインシステムにより、集中管理しているため、必要不可欠な機能である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 図書館オンラインシステムの維持管理は、直営で対応しているが、システム関連機器の保守や配本車の運行、マーク購入、専用回線の利用などは、専門の業者と個別に契約し運営している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移								
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	54,101	53,094	49,681	51,506	50,455	47,908	50,506	
決算額（26年度は見込み）	52,154	51,768	45,468	48,949	47,909	46,778	50,506	
人件費等	34,058	34,425	16,028	17,969	11,152	17,632		
減価償却費			7,117	8,708	4,356	7,166		
【事務分担量】（%）	1,000	1,084	245	280	135	212		
合計（+ +）	86,212	86,193	68,613	75,626	63,417	71,576	50,506	
特定財源								
国	0	0	0	0	0	0	0	
都	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	86,212	86,193	68,613	75,626	63,417	71,576	50,506	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
個人登録者数（人）	51,768	53,769	55,566	55,280	54,289	53,391	56,000	
パスワード登録者数（人）	15,204	16,728	18,134	18,356	19,618	19,618	21,000	
予約登録点数（点）	456,606	500,626	562,336	585,183	590,556	586,058	630,000	
WEB予約登録点数（点）	310,971	351,383	406,774	431,433	441,312	441,949	480,000	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金	臨時職員賃金	431	委託料	システム機器等保守	18,169	委託料	システム機器等保守	19,317
需用費	マーク購入費等	5,233	使用料等	システム機器等賃借	13,083	使用料等	システム機器等賃借	13,083
役務費	配本車運行等	10,519	役務費	配本車運行等	10,558	役務費	配本車運行等	11,421
委託料	システム機器等保守	18,643	需用費	利用者カード等印刷製本	4,609	需用費	利用者カード等印刷製本	4,573
使用料等	システム機器等賃借	13,083	賃金	臨時職員賃金	359	備品購入費	無線LANパソコン	2,112

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	パスワード登録者の割合(%)	33.2	36.1	36.7	38	40	パスワード登録者÷個人登録者数
	インターネット予約の割合(%)	73.7	74.7	75.1	76	80	インターネット予約登録点数÷予約登録点数

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい図書館システムでは、資料の管理をバーコードからICタグ等に変更し、自動貸出機や予約棚などと連携して利用者の利便性を高める仕組みを取り入れる予定である ・図書館システムのネットワークインフラについては、荒川区の情報系システムのインターネットデータセンターに設置し、情報資源の共有化を図ることが課題となっている。 ・機能面では、資料の書影表示や全文検索エンジンの導入、多言語表記に対応するとともに、図書館の「読書記録」を活用したサービスなどの新たな機能の導入が検討課題となっている。 ・インターネット予約を普及させることで職員の作業が縮減されるので、勸奨等を積極的に進めていく。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	新図書館システムの選定 ・内容検討 ・プロポーザルの実施	新図書館システムの開発

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	推進	新システムの導入に伴って、利用者の利便性向上を図り効率的なサービスを提供するための改善・見直しを実施していく。

議会議事録 （要旨）	<ul style="list-style-type: none"> ・H12二定 インターネットを活用した検索・予約システムの早期実現について ・H14三定 インターネット予約時の順番がわかるようにすることについて
---------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-06	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	子ども読書活動推進計画事業		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	小堀	
			担当者名	鈴木	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-02-05	子ども読書活動推進計画事業費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	18年度	根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		
終期設定	有	無	年度				
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	子どもたちの読書環境を整備し、自主的な読書活動を支援することにより、子どもたちが「本に親しむ」きっかけを増やす。						
対象者等	区民全体						
内容	<p>平成18年4月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画」及び平成23年に10月に策定された「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」に基づき、家庭・地域、学校、図書館が連携して以下のような事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 家庭での読書活動に対する支援と地域における読書環境の整備 ブックスタート、おはなし会、出産を迎える方々への読み聞かせ講習会、ボランティア養成講座、団体貸し出しの充実、子ども読書活動推進PRの実施等 小・中学校における取り組み 学校図書館との連携強化、図書館職員による新小学一年生を対象にした学校訪問等 区立図書館における取り組み 0歳から18歳までの子どもの発達段階に応じた読書活動を支援する。 体験型おはなし会の実施、10代の子どもに向けた参加型イベント、柳田邦男絵本大賞 						
経過	<p>平成17年 7月 「（仮）荒川区子ども読書活動推進計画」検討委員会及び作業部会設置 平成18年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画」策定 平成19年12月 「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づき、第一回あらかわ子ども読書フェスティバル実施 平成20年 7月 第一回柳田邦男絵本大賞を創設 平成21年 1月 第二回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第一回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成22年 1月 第三回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第二回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成23年 1月 第四回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第三回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定 平成24年 1月 第五回あらかわ子ども読書フェスティバル実施。第四回柳田邦男絵本大賞を表彰 平成25年 1月 第五回柳田邦男絵本大賞を表彰（単独開催） 平成26年 1月 第六回柳田邦男絵本大賞を表彰</p>						
必要性	子どもたちの読書離れの改善、読書力や国語力向上のため、必要である。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	2,311	5,811	4,872	5,936	7,009	6,306	6,118	
決算額（26年度は見込み）	1,393	4,307	3,898	4,581	5,826	5,367	6,118	
人件費等	6,008	8,318	9,523	14,460	8,079	12,042		
減価償却費			4,358	6,998	5,325	7,098		
【事務分担量】（%）	95	212	150	225	165	210		
合計（+ +）	7,401	12,625	17,779	26,039	19,230	24,507	6,118	
特定財源								
国	0	0	0	0	0	0	0	
都	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	7,401	12,625	17,779	26,039	19,230	24,507	6,118	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
講演会（児童・10代）参加人数（人）	86	41	57	16				
ボランティア養成講座参加人数（人）	261	140	148	164	112	140	150	
講習会（読み聞かせ等）参加人数（人）	22	24	16	16	33	37	40	
	（24年度から布絵本の講習会開始）							

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	講演会等講師謝礼	562	需用費	消耗品、印刷製本費	4,686	需用費	消耗品、印刷製本費	5,368
一般需用費	消耗品費	4,222	報償費	講演会等講師謝礼	600	報償費	講演会等講師謝礼	660
	印刷製本費	794	使用料等	会場使用料	50	使用料等	会場使用料	58
役務費	筆耕等	35	役務費	筆耕等	31	役務費	筆耕等	32
使用料及び賃借料	会場使用料	53						
備品購入費	展示架・テーブル	159						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	64.9	65.6	64.5	65	70	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。
	区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	63	61.5	62.8	65	70	子ども読書活動の事業を展開し、7割近い登録をめざす。

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・第三次子ども読書活動推進計画の策定を見据え、関係各課との連携を図り、「荒川区子ども読書活動推進計画」に基づいた計画事業を取りこぼさないよう進める必要がある。 ・柳田邦男絵本大賞については、一般の部の応募者が少ないため、更なる周知を図り、応募者拡大を図る。 ・4月23日の「子ども読書の日」や10月27日の「文字・活字文化の日」にちなんだ効果的な読書に関する啓発活動を行い、子ども読書活動の意義を積極的にPRする必要がある。
	他区の実況 （実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区） 推進計画未策定：渋谷、江戸川

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	学校図書館だよりを公立図書館で掲示するなど、区内小中学校・学校図書館との連携強化を図る	第三次荒川区子ども読書活動推進計画を策定する
	小学校高学年を対象とした企画を検討する	小学校高学年を対象とした新たな事業を展開する
	職員の絵本に関する資質や能力を高めるため、絵本専門士養成講座の受講を支援する	絵本専門士を中心に、複合施設開館に向け、絵本の選書、絵本に関する取組等について推進する

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
重点的に推進	重点的に推進	子どもの読書離れの改善、国語力や読書力の向上のために、きわめて優先度の高い事業である。

況議 （要 質 問 状）	
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-07	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書館の運営		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名		小堀
			担当者名	薄場	内線		436
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-03-01	図書館事務費					
事務事業の種類	新規事業	（26年度	25年度）	建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	25年度	根拠	図書館法、文字・活字文化振興法、荒川区立図書館館則		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	図書館運営を適切に実施することにより、図書館の快適性を維持し、利用を促進する。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<p>区立図書館各館の運営や事業に必要な臨時職員雇用、消耗品購入、利用案内の作成、コピーサービス等を実施。</p> <p>非常勤職員設置状況（平成26年6月1日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南千住図書館 非常勤職員28名配置（上級主任2名、主任4名、上級8名） ・荒川図書館 非常勤職員14名配置（主任3名、上級5名） ・尾久図書館 非常勤職員13名配置（上級主任1名、主任4名） ・町屋図書館 非常勤職員13名配置（主任3名、上級4名） ・日暮里図書館 非常勤職員18名配置（上級主任1名、主任3名、上級6名） <p>合計86名（上級主任4名、主任17名、上級23名）</p>						
経過	<p>昭和37年 3月 現荒川図書館開館 昭和46年 9月 尾久図書館開館 昭和48年 4月 旧南千住図書館開館</p> <p>昭和51年10月 町屋図書館開館 昭和54年 6月 日暮里図書館開館</p> <p>昭和56年 4月 開館時間が9時半～19時半となる。</p> <p>平成 4年 5月 日暮里図書館に吉村昭コーナー設置（平成16年9月より全館で開設）</p> <p>平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施</p> <p>平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施。</p> <p>平成13年度より全館で非常勤職員を採用</p> <p>平成15年 4月 南千住図書館で月曜の祝日開館実施</p> <p>平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長</p> <p>平成19年 9月 汐入サービスステーション開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充）</p> <p>平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設</p>						
必要性	区民の読書推進と図書館利用の促進のため、直営を維持し、今後も図書館サービスを充実する必要がある。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	17,558	17,516	16,125	15,991	17,229	17,925	16,640	
決算額（26年度は見込み）	16,457	16,458	14,733	14,643	16,011	16,778	16,640	
人件費等	13,322	15,168	15,749	15,307	25,170	28,893		
減価償却費			6,827	7,309	16,425	22,984		
【事務分担量】（%）	180	329	235	235	509	680		
合計（+ +）	29,779	31,626	37,309	37,259	57,606	68,655	16,640	
特定財源								
国	0	0	0	0	0			
都	0	0	0	0	0			
その他	1,066	1,018	1,079	839	712			
一般財源	28,713	30,608	36,230	36,420	56,894	68,655	16,640	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
入館者数（人）	1,211,614	1,256,398	1,241,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,300,000	
個人総貸出点数（点）	1,818,212	1,927,377	2,000,924	2,009,675	1,959,488	1,910,884	1,930,000	
住基人口（翌年1月1日）	199,916	202,414	204,837	205,831	206,457	207,635	208,000	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金	臨時職員賃金	12,354	賃金	臨時職員賃金	12,621	賃金、報償費	臨時職員賃金等	13,260
職員旅費	近接地内旅費	33	需用費	館運営消耗品印本	1,846	需用費	館運営消耗品印本	1,647
一般需用費	館運営消耗品印本	1,812	使用料等	複写機賃借料等	984	使用料等	複写機賃借料等	1,117
委託料	地域資料等補修委託	167	備品購入費	防犯カメラ等	964	委託料	地域資料等補修委託	271
使用料等	複写機賃借料等	1,393	委託料	地域資料等補修委託	283	負担金補助等	日本図書協会会費等	187
備品購入費	C D架等	201	負担金補助等	日本図書館協会会費等	51	旅費	近接地内旅費等	114
負担金等	日本図書館協会会費等	51	旅費	近接地内旅費	29	備品購入費	プロジェクター等	44

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	入館者一人当たりの経費(円)	10.9	12.2	13.0	12.8	12.0	経費÷入館者数
	区民一人当り総個人貸出点数(点)	9.8	9.5	9.2	9.3	10.0	総個人貸出点数÷住基人口

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化するニーズを的確に把握し、充実した図書館サービスを提供するため、複合施設開館に合わせて開館日、時間等を検討する必要がある。 ・区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、尾久地域へのSSの設置を進めていくほか、複合施設開館後の利用状況等も含めて、図書館全体のあり方についても検討していく。 ・ビブリオバトルや選書ツアー等、読書活動を促進する新たな企画を検討する必要がある。
	他区の実況 （実施 6 区 未実施 16 区 不明 0 区） 非常勤職員制度導入区：6区（千代田・品川・大田・中野・北・板橋） 指定管理者導入：10区（千代田・港・新宿・文京・大田・杉並・板橋・練馬・足立・江戸川） 窓口業務委託実施区：20区（未実施区：千代田・新宿・荒川）

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	利用者アンケートを実施し、利用者のニーズを把握し、図書館サービスの向上に努める。	新たなサービスの提供や利用者のニーズに沿った図書館運営を検討する
	職員の選書能力や企画運営力、資質向上のための館内外研修の充実	職員の人事評価制度や選書能力・資質向上のための館内外研修の充実

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、継続して実施する。

議 会 質 問 状 (要旨)	
-------------------------------	--

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-08	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書館施設の修繕	部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	小堀	担当者名	森（祐）
				内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-04-01	営繕費（一般分）					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 平成	年度	根拠				
終期設定	有 無	年度	法令等				
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画	
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、建物の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	図書館施設の建物修繕経費を計上 平成25年度の修繕内容 ・南千住図書館 自動ドアセンサー修繕ほか 全11件 847,833円 ・荒川図書館 トイレ修繕ほか 全10件 2,388,245円 ・尾久図書館 床修繕ほか 全15件 1,655,761円 ・町屋図書館 畳交換修繕ほか 全7件 302,925円 ・日暮里図書館 床・サッシ修繕ほか 全18件 1,722,210円						
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開設 昭和46年 9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年 6月 日暮里図書館開設 平成10年 5月 南千住図書館開設 平成19年 9月 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月 汐入図書サービスステーションの拡張 平成25年10月 汐入図書サービスステーションの拡充						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 各館の破損状況等に応じ、業者委託により実施						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	7,347	7,355	15,016	6,921	7,285	7,630	6,972	
決算額（26年度は見込み）	4,684	5,999	14,773	6,182	6,230	6,917	6,972	
人件費等	4,251	5,579	5,668	7,622	5,783	6,654		
減価償却費			1,888	2,799	2,259	2,704		
【事務分担量】（%）	100	100	65	90	70	80		
合計（+ +）	8,935	11,578	22,329	16,603	14,272	16,275	6,972	
特定財源								
国	0	0	0	0	0	0	0	
都	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	8,935	11,578	22,329	16,603	14,272	16,275	6,972	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
全館修繕総件数(件)	42	56	74	63	63	61	59	
入館者数(人)	1,211,614	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,300,000	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
一般需用費	南千住図書館	1,960	需用費	南千住図書館	848	需用費	南千住図書館	2,649
	荒川図書館	1,343		荒川図書館	2,388		荒川図書館	1,053
	尾久図書館	803		尾久図書館	1,656		尾久図書館	1,087
	町屋図書館	588		町屋図書館	303		町屋図書館	945
	日暮里図書館	1,535		日暮里図書館	1,722		日暮里図書館	1,238

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標							

問題点・課題 (指標分析)	・快適に利用できる施設を維持するため、点検業務報告書を活用した計画的な修繕が必要である。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策	
平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
老朽化した設備の計画的修繕及び機械の交換	老朽化した設備の計画的修繕及び機械の交換
中長期計画で位置づけられた改修の検討	中長期計画で位置づけられた改修の実施

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	推進	老朽化が進み、施設の維持が必要なため、継続して取り組む必要がある。

議会議事録 (要旨)	H25予特 荒川図書館の男子トイレの改修
---------------	----------------------

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-09	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書館施設の改修		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	小堀	
			担当者名	森（祐）	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-04-02	営繕費（施設改修分）					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）			建設事業	それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	年度	根拠			
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	図書館施設の適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	図書館施設の施設改修工事費等を計上 平成25年度の修繕・工事 ・町屋図書館 窓ガラス飛散防止改修工事 2,034,900円 ・日暮里図書館 昇降機設備改修工事 16,695,000円 ・日暮里図書館 窓ガラス飛散防止改修工 2,774,276円						
経過	昭和37年 3月 荒川図書館開設 昭和46年 9月 尾久図書館開設 昭和51年10月 町屋図書館開設 昭和54年 6月 日暮里図書館開設 平成10年 5月 南千住図書館開設 平成19年 9月 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月 汐入図書サービスステーションの拡張 平成25年10月 汐入図書サービスステーションの拡充						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 営繕課に執行委任して工事实施（大規模修繕については所管課で対応）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
予算額	2,777	9,234	48,550	72,715	22,263	23,168	24,427	
決算額（26年度は見込み）	2,439	7,161	48,489	71,463	20,721	21,504	24,427	
人件費等	1,939	1,751	1,308	3,388	2,891	3,327		
減価償却費			436	1,244	1,129	1,352		
【事務分担量】（%）	30	25	15	40	35	40		
合計（+ +）	4,378	8,912	50,233	76,095	24,741	26,183	24,427	
特定財源								
国	0	0	0	0	0	0	0	
都	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	4,378	8,912	50,233	76,095	24,741	26,183	24,427	
実績の推移	事項名							
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
全館改修工事件数(件)	1	2	2	9	4	3	1	
入館者数(人)	1,211,614	1,256,398	1,341,244	1,343,444	1,311,706	1,291,384	1,300,000	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
一般需用費	南千住・溶液一次ポンプ修繕	3,675	工事請負費	日暮里エレベータ等	21,504	工事請負費	尾久外壁・屋上防水	24,427
工事請負費	町屋・階段昇降機	9,521						
	全館・電話設備改修工事	5,085						
	冷暖房機設置工事	1,396						
	荒川・幹線ケーブル交換工事	1,044						

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	

（問題点・課題 分析）	・尾久図書館、町屋図書館、日暮里図書館はいずれも建設後の経過年数が30年以上となっており、老朽化が進んでいるため、荒川区公共建物中長期改修実施計画及び今後の公共施設のあり方の検討を踏まえ、着実に改修を実行していく。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） ・文京区立真砂図書館 平成27年度全面リニューアル予定
他区の実況	

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	尾久図書館の外壁・屋上防水改修工事	中長期改修計画に基づく日暮里図書館の給排水工事を含む全面リニューアルの検討

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
継続	継続	老朽化が進み、施設の維持が必要なため、継続して取り組む必要がある。

議 会 （要 質 問 状）	・H25一定 尾久図書館の整備について ・H25予特 尾久図書館の建替えについて
------------------------------	---

事務事業分析シート（平成26年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-05-10	戦略プラン	協働	業務	財務	人事
事務事業名	図書サービスステーション		部課名	地域文化スポーツ部図書館課	課長名	小堀	
			担当者名	森(祐)	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（26年度）	01-05-01	図書サービスステーション管理運営費					
事務事業の種類	新規事業（26年度 25年度）		建設事業		それ以外の継続事業		
開始年度	昭和	平成	19年度	根拠	荒川区立図書館図書サービスステーション運営要綱		
終期設定	有	無	年度	法令等			
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市					
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成				
	施策	04-13	図書館サービスの充実				
目的	<ul style="list-style-type: none"> 近くに図書館がないため、図書館サービスが行き届きにくいと思われる地域に図書サービスステーションを設置し、図書館サービスに対する区民の利便性の向上を図る。 急増している子育て世代に対する子育て教育環境の整備（汐入地域） 商店街の空き店舗を活用し、商店街振興に寄与する。 						
対象者等	図書館利用者						
内容	<p>汐入図書サービスステーション(荒川区南千住8-12-5 べるぼーと汐入東館1F 109・113・114号室) 社協が運営する「おもちゃ図書館」と隣接 面積:124.07㎡ 開館日:平成19年9月8日 業務内容:利用者登録、検索、予約、貸出、返却 蔵書冊数 図書12,534冊、雑誌436冊(H26年4月1日) 25年度入館者数:180,329人(1日当たり609人) 貸出者数:75,770人(1日当たり256人)</p> <p>冠新道図書サービスステーション(荒川区西日暮里6-25-14) 面積:181.44㎡ 開館日:平成21年11月14日 業務内容:利用者登録、検索、予約、貸出、返却 蔵書冊数 図書11,348冊、雑誌499冊(H26年4月1日) 25年度入館者数:56,483人(1日当たり191人) 貸出者数:35,415人(1日当たり120人)</p>						
経過	<ul style="list-style-type: none"> 「これからの図書館調査懇談会報告書」(平成18年4月)において、SS設置の提言を受けた。 「荒川区基本計画」(平成19年度～平成28年度)「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 「あらかわ刷新プラン」(平成17年度～21年度)及び「荒川区実施計画」(平成19年度～平成22年度)において、平成19年度に「図書サービスステーションの設置」を掲げる。 平成19年9月8日 汐入図書サービスステーション開設 平成21年11月14日 冠新道図書サービスステーション開設 平成22年12月18日 汐入図書サービスステーションのフロアの拡張を実施し蔵書の充実を行った。また、拡張したフロア部分に「柳田邦男さんおすすめ絵本コーナー」を設置した。 平成25年10月1日 汐入図書サービスステーションのフロアを拡充するとともに、2,500冊程度の蔵書の充実を図った。 						
必要性	近くに図書館が無く、図書館サービスが行き届きにくい地域に図書館サービスを提供するため、必要性が高い事業である。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)						

(単位:千円)

予算・決算額等の推移									
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		
予算額	22,447	48,879	43,980	23,001	19,711	25,659	21,768		
決算額(26年度は見込み)	20,956	31,931	38,410	21,166	18,646	24,882	21,768		
人件費等	5,577	13,537	11,860	15,307	2,478	4,990			
減価償却費			4,939	7,309	968	2,028			
【事務分担量】(%)	70	239	170	235	30	60			
合計(+ +)	26,533	45,468	55,209	43,782	22,092	31,900	21,768		
特定財源									
国	0	0	0	0	0	0	0		
都	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	3,789	1,349	1,284	1,277	1,320		
一般財源	26,533	45,468	51,420	42,433	20,808	30,623	20,448		
実績の推移	事項名		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
入館者数(人)	汐入	147,453	148,438	162,755	189,854	188,942	180,329	189,000	
	冠新道	-	17,426	51,407	5,1610	53,966	56,483	57,000	
個人貸出者数(人)	汐入	56,758	67,652	70,966	77,115	75,779	75,770	76,000	
	冠新道	-	8,725	30,368	32,031	33,402	35,415	36,000	

予算・決算の内訳								
平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
賃金	臨時職員賃金	2,505	使用料等	建物賃貸料等	12,001	使用料等	建物賃貸料等	12,276
光熱水費	電気料等	798	需用費	図書その他消耗品等	6,824	需用費	図書その他消耗品等	4,702
一般需用費	図書その他消耗品等	3,050	賃金	臨時職員賃金	2,750	賃金	臨時職員賃金	3,015
役務費	電話料等	280	委託料	図書館システム保守等	1,645	委託料	図書館システム保守等	1,472
委託料	図書館システム保守等	1,375	備品購入費	書架等	1,288	役務費	電話料等	303
使用料賃借料	建物賃借料等	10,637	役務費	電話料等	374			
備品購入費								

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		23年度	24年度	25年度	26年度 見込み	目標値 (27年度)	
標	汐入個人貸出者数（人）	75,115	75,779	75,770	76,000	78,000	
	冠新道個人貸出者数（人）	32,031	33,402	35,415	36,000	37,000	

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・汐入図書SSについては、平成25年10月にフロアの一部拡張を行った。両SSとも質の向上を目指し、資料の入れ替え等検討していく必要がある。 ・区内全域に図書館サービスを行き届かせるため、尾久地域にSSの設置を進めていく。
	他区の実況 （実施 4 区 未実施 18 区 不明 0 区） 類似する施策として、駅前等サービスコーナーの設置事例がある区 品川区、杉並区、豊島区（図書の返却及び予約本の貸出業務のみ）、足立区

問題点・課題の改善策		
	平成26年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度以降に取り組む具体的な改善内容
	配架後数年が経過したことで、貸出回数が減った資料を入れ替え、魅力ある書架にする。	魅力あるSSづくりのためのコーナー設置、蔵書の入れ替えを進める
	尾久地域のサービスステーション開設	

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
26年度	27年度	
推進	継続	区民の身近な場所で図書館サービスを提供するため、優先度の高い事業である。

況議 （要質 問旨 状）	<ul style="list-style-type: none"> ・ H24一定 ・ H24決特 <ul style="list-style-type: none"> ・ 西尾久地域における図書サービスステーションの設置について ・ 尾久地域における図書サービスステーションの設置について ・ 都立汐入公園内における（仮称）汐入図書館の設置について
-----------------------	---